

系統的なキャリア教育システムの構築と教育効果の検証手法

Construction of Systematic Career Education System and the Verification Method of the Education Effect

○羽瀨 仁恵¹、稲葉 成基¹、所 哲郎¹、田島 孝治¹ (1. 岐阜高専)

○Hitoe Habuchi¹, Seki Inaba¹, Tetsuro Tokoro¹, and Kouji Tajima¹

(1. Natl. Inst. Technol., Gifu Coll.)

E-mail: habuchi@gifu-nct.ac.jp

【はじめに】岐阜工業高等専門学校では学生の自主性を引き出すためいくつかの取り組みを実施している。全学的に科学技術リテラシー教育実習を行い学生が自主的に活動できる機会を提供し、地域貢献や岐阜高専のブランド化に寄与している¹⁾。また、各種資格、検定試験合格、サイエンスボランティア参加等をポイント化する制度を導入して学生の自主的な活動を活性化させた。電気情報工学科では学生実験を見直し5年間の実験すべてに創成型実験を導入し、工学的なデザイン能力の養成を行ってきた²⁾。一方、講義や実験・実習だけでは補うことのできないキャリア教育は本格的には行っていなかった。そこで系統的にキャリア教育ができるようにプログラムを作り、さらに定量的に教育効果を検証できるようシステムを構築した³⁾。

【方法】中央教育審議会は平成23年1月に、今後の学校教育におけるキャリア教育・職業教育の在り方について答申し、4領域で8種類の能力を定義している。しかし高専では卒業してすぐ社会人になることを前提にする必要がある。そこでこれを参考に高専でのキャリア能力として3分類、10種類の能力を表1のように定義した。決定した能力は、特別教育活動、学級指導、講演会、インターンシップ等、課外授業あるいは授業時間の一部等を利用して教授する。設定した指導方法の教育内容には個々に、対応した能力に対する評価方法および評価基準を定めている。当日は、1年間行った結果について発表する。

本教育研究はJSPS科研費 JP15K00945の助成を受けた。

【参考文献】

- 1) 羽瀨他:第27回物理教育に関するシンポジウム(北海道科学大学、2016年10月29-30)。
- 2) 稲葉他:工学教育, Vol.61, No.1, pp.123-127, 2013.
- 3) 稲葉他:平成28年度工学教育研究講演会論文集(大阪大学吹田キャンパス、2016年9月5-7), pp.250-251.

表1 キャリア能力の定義と評価方法(第一学年)

分類	能力	内容	評価方法
キャリア プランニング	キャリアプラン	将来の生き方、社会での役割を考え計画を立てる	報告書(抱負)の評価
	計画実行能力	キャリアプランに従った行動ができる	報告書(反省)の評価
	職業理解	企業で求められる人材や貢献できることを知り理解する	
社会人としての 基礎能力	自己管理能力	規律ある生活を送り期限を守る	欠課時数及びレポート提出状況
	コミュニケーション力	他者の個性を尊重し自己の個性を発揮し協力しあえる	
	チームワーク力 社会人基礎能力	双方の主張を調整を図り昭和を取ることができる 社会人として求められる基礎的な能力	特活学校行事の欠席日数
技術者としての 能力	専門知識	技術者としての必要な知識	専門科目の評価
	実践力	技術者として必要な実践力	デザイン能力
	倫理	技術者としての倫理観	